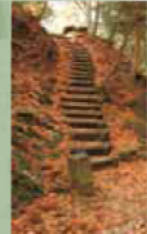




国上山遊歩道

麓からのルートや中腹からのルートなど初心者から上級者まで楽しめます。種類豊富な四季の草花を堪能してください。「弥彦・国上トレッキングガイド」を道の駅国上・ビジターセンターで販売中(300円)。



ブナ林(県天然記念物)

国上寺裏のブナ林は、県内で唯一、ブナと暖地性のヤブツバキが共存する樹林で、学術的な価値が高く、県の天然記念物に指定されています。

蛇崩れ

山頂から少し下ったところにある「蛇崩れ」は奇岩と老松の景勝地で、ここから眺める越後平野は「素晴らしい」の一言。

千眼堂吊り橋

朝日山展望台と五合庵とを結ぶ長さ124メートルの吊り橋。ひととき鮮やかな深紅の橋梁が緑の山に美しく映え、「新潟の橋50選」にも選ばれています。秋には紅葉に包まれ、見る者の心を和ませます。

朝日山展望台

眼下に広大な越後平野と大河津分水路、遠く越後三山までも望むことができます。桜の開花から紅葉の季節まで多くの人でにぎわい、子どもたちと遊ぶ良寛像もここに設置されています。



観る

ビジターサービスセンター



国上山中腹にある観光拠点。館内には良寛の遺墨や国上山周辺の四季の写真などの展示室、良寛にちなんだ土産物を販売する売店、食堂などがあります。
●定休日/火曜日・冬期間閉店
※天候などにより開館時間が異なりますのでご注意ください。
●問い合わせ/TEL.0256-97-1661

源義経、弁慶

文治3年(1187)兄源頼朝に追われる身となった義経は、武蔵坊弁慶をはじめ数人の家来と共に奥州の藤原秀衡を頼って落ちのびる途中、寺泊を経て国上寺に参詣、今後の無事を祈願して持仏の大黒天木像を寄進したといわれています。その後は、国上寺に秘蔵されてきましたが文化13年(1816)に、霊夢により招福利益のため六角堂を建立し、大黒天像が本尊として安置されました。

酒呑童子

京都大江山で大暴れしたという伝説の鬼・酒呑童子は、燕市で誕生したという言い伝えがあります。幼名を外道丸と名付けられ、国上寺に稚児としてあずけられ、ひたすら仏道の修行に励んでいました。外道丸はまれにみる美男子だったため、近郷近隣の娘たちから恋文が山のように届きましたが、それを開くことなく修行に励んでいました。ところがある日、外道丸から返事の来ないことを悲観した娘が自分の命を絶ったことを知った外道丸が、恋文の結まったつづらを開けると白煙が立ち昇り、外道丸は鬼の顔に変わり、「酒呑童子」となってしまうと伝えられています。

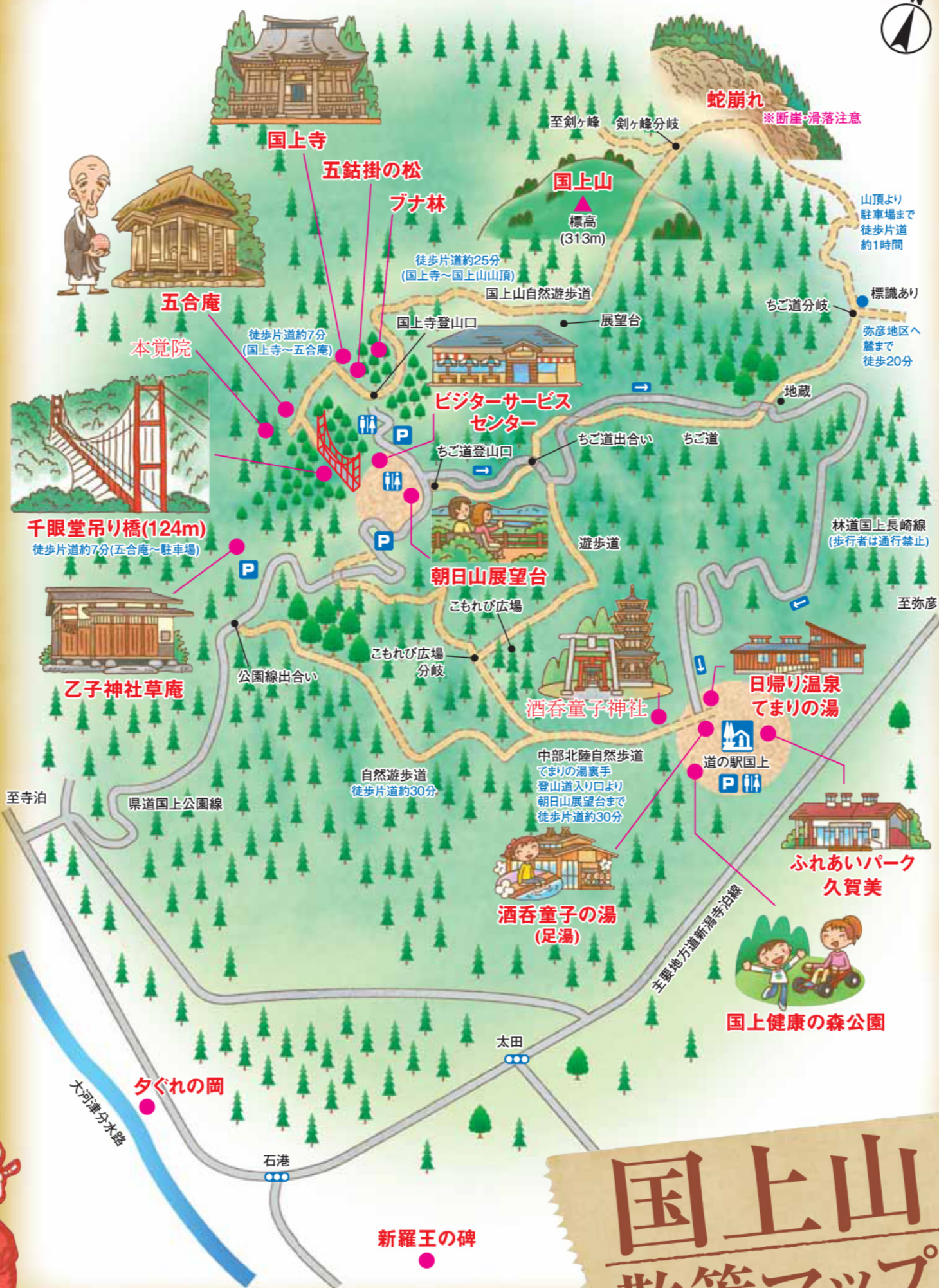
五銛掛の松

弘法大師が唐から帰朝の折、密教流布のため船中から投じた、独銛・三銛・五銛のうち五銛が国上寺の松に掛ったといい、国上寺が天台から真言へ移る際のひとつの機縁を示すものです。

新羅王の碑

竹ヶ花集落の裏山にあり、新羅から漂着し、当地に住んだ人の墓といわれており、寺泊へ漂着した新羅王一族が、後年この地に移り住んだものという伝説も。没後も地元民が手厚く墓守りをしています。

伝説



国上山 散策マップ



良寛 ゆかりの地

夕ぐれの間

良寛が托鉢の道すがらよく足を止めた場所とされ、かつて五合庵に住んでいた萬元和尚を偲んだ歌をうたったとされています。現在、そのころのおもかげは一変してしまいましたが、この岡だけは残り、往時に思いを馳せる絶好の憩いの場となっています。

五合庵

良寛は、諸国行脚の末、寛政5年(1793年)頃から越後に戻り、後にここ五合庵で約20年を過ごしました。山の中にたずむ五合庵、静かで詩的な風景が、ここにはひっそりと息づいています。五合庵の名は、国上寺の客僧であった萬元上人が、一日あたり米五合を給されていたことに由来します。なお、現在の五合庵は、大正3年に再建されたものです。

国上寺

和銅2年(709年)創建の、県内最古の名刹で、平成21年(2009年)には、開山1300年を迎えました。良寛や「天地人」の直江兼経ともゆかりがあるほか、源義経・弁慶や酒呑童子などの伝説も残っています。現在の堂塔は今から約300年前に建立されたもので、4度目の再建にあたります。
●問い合わせ/TEL.0256-97-3758

乙子神社草庵

五合庵の老朽化と朝夕の山坂の登り下りが老身にこたえ、良寛は文化13年(1816年)から約10年、乙子神社社務所に移り住みました。以来、誰いこともなく乙子神社草庵と呼ぶようになりました。

寛ぎスポット 道の駅「国上」



味処花でまりでは、そば、うどん、地元産コシヒカリのおにぎりをご用意しているほか、土産品の販売も行っています。約40人が同時に利用できる無料の足湯「酒呑童子の湯」や、地元野菜の直売所「ぶんすいふれあい市」なども隣接し、家族で楽しめます。
●問い合わせ/ふれあいパーク 久賀美 TEL.0256-98-0770

おこわ団子

しょうゆ味のおこわの中に、あん入り団子を組み合わせています。中は甘く、外はしょっぱい味がやみつきに。



足湯・酒呑童子の湯(無料)

てまりの湯

- 利用時間/AM10:00~PM9:00(入館受付は閉館30分前迄)
- 休館日/毎月第2・第4月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
- 入館料/AM10:00~PM5:00 大人500円、小・中学生300円 PM 5:00~PM9:00 大人300円、小・中学生100円 ※バスオトルは別途50円
- 問い合わせ/TEL.0256-97-1755

国上山山開き

登山者の安全を祈願して開催。朝日山展望台では、小鳥の巣箱作りや茶席など、さわやかな新緑の中で各種イベントを開催します。朝日山展望台では、鮮やかな山桜も楽しめます。
●毎年4月29日(祝日)開催

国上寺火渡り大祭

松の木を積んでヒバでおおった護摩木の周りをまわり、不幸や災難をはらって幸運・吉運の招来を祈願します。護摩木が燃え尽きると火道がつくれ、裸足で次々と渡り息災延命を祈願する荒行です。
●毎年11月3日(祝日)開催

越後くがみ山酒呑童子行列

燕市砂子塚で生まれたとされる酒呑童子をモチーフとしたイベント。500名の参加「鬼」は、鬼面をかぶって山道を練り歩き、酒呑童子神社で諸願成就を祈願します。
●毎年10月中旬開催

